
新幹線駅舎のデザインについて
～デザインコンセプト応募状況・候補案～

敦 賀 市

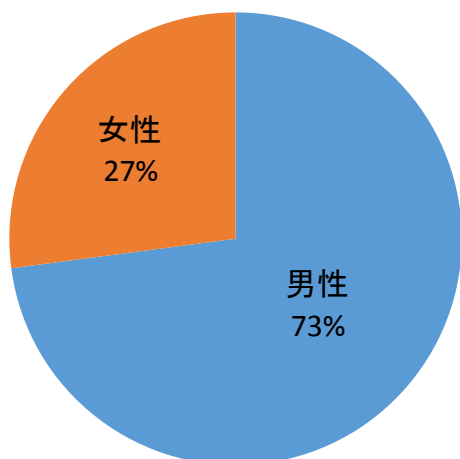
平成 2 8 年 9 月

1 新幹線駅舎デザインコンセプトの応募状況

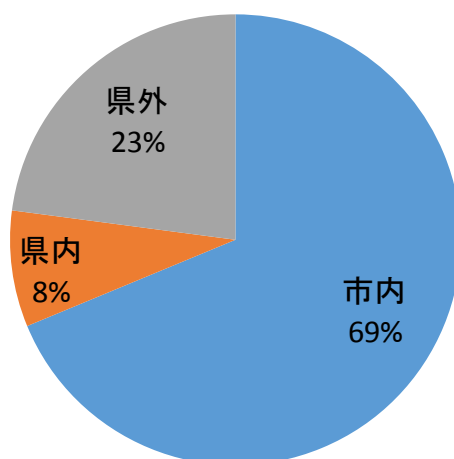
新幹線敦賀駅舎のデザインコンセプトを募集したところ、市内外から48件の応募がありました。

募集期間：平成28年7月12日（火）～7月31日（日）

男 女 別



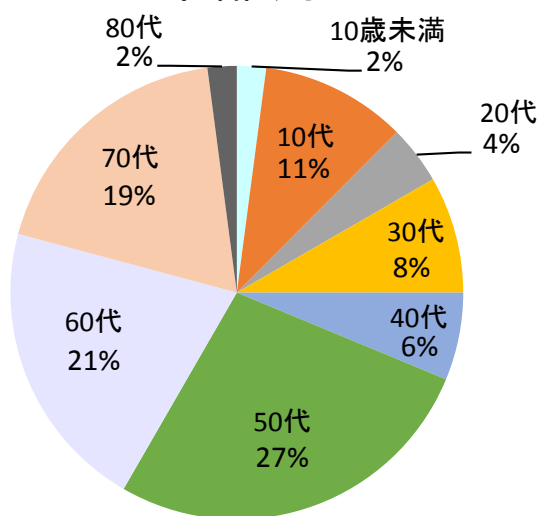
地 域 別



	男性	女性	合計
件数	35	13	48
割合	72.9%	27.1%	100.0%

	市内	県内	県外	合計
件数	33	4	11	48
割合	68.8%	8.3%	22.9%	100.0%

年 齢 別



	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
件数	1	5	2	4	3	13	10	9	1	48
割合	2.1%	10.4%	4.2%	8.3%	6.3%	27.1%	20.8%	18.8%	2.1%	100.0%

2 デザインコンセプト候補案について

(1) デザインコンセプト候補案（5案）

No.	デザインコンセプト候補案
No. 1	歴史、自然、市民を紡ぐみんなの交流拠点
No. 2	伝統と未来をつなぐきらめく駅
No. 3	天空から見る歴史ある港と街の見える駅
No. 4	海と山に囲まれた自然いっぱいの駅
No. 5	空にうかぶえき ラピュタえき

応募いただいたデザインコンセプト案について、敦賀駅周辺デザインガイドライン専門部会で審議し、5案に絞り込みました。これらのデザインコンセプト案について、皆様から御意見を伺いたいと考えています。

また、専門部会ではデザインコンセプトだけでなく、応募者が書いたコンセプトの理由及びその他要望も良いメッセージが込められているとの御意見が挙がりましたので、次ページ以降に原文と専門部会で出た主な意見を掲載しました。

今後は、本委員会等での御意見を踏まえながら、11月に開催予定の敦賀駅周辺デザインガイドライン専門部会で最終案を作成する予定です。

なお、最終案のデザインコンセプトについては、頂いた御意見を踏まえながら、専門部会にてフレーズの一部変更等を行うこともあります。

北陸新幹線敦賀駅舎デザインコンセプト応募用紙

<p>デザインコンセプト (駅舎外観デザイン の基本的な考え方)</p>	<p>歴史、自然、市民を紡ぐ みんなの交流拠点</p>
<p>上記のデザインコンセプトにした理由をお聞かせください。</p>	<p>命のびがを代表とする歴史を育み、 原比の松原 などの 豊かな自然を 大切にすまら。 そこに住む人々、訪れる人々が 出会い、新しい未来を築き合う 交流拠点となるよう原意を 込めて!</p>
<p>その他、新幹線駅舎についてのご要望がございましたらお聞かせください。</p>	<p>出来るだけ 大きさ (威圧感) を 抑える 配慮が 必要では ないかと 思います。</p>

【デザインガイドライン専門部会での主な意見】

- ・敦賀の宝である広大な歴史、雄大な自然を、訪れる人々と市民が一緒になって交流し、育んでいくという未来に向かっての想いが伝わってくる。
- ・「紡ぐ」、「交流」というキーワードが良い。
- ・「その他要望」の欄に書いてある「威圧感を抑える配慮が必要」という意見が大切である。

北陸新幹線敦賀駅舎デザインコンセプト応募用紙

<p>デザインコンセプト (駅舎外観デザインの 基本的な考え方)</p>	<p>伝統と未来をつなぐ きらめく馬尺</p>
<p>上記のデザインコンセプトにした理由をお聞かせください。</p>	<p>昔からの港の歴史と 新たな新幹線駅とを 結ぶ輝く馬尺に期待したい との理由からです。</p>
<p>その他、新幹線駅舎についてのご要望がございましたらお聞かせください。</p>	<p>港の歴史と鉄道の 歴史を、紹介に欲しいです。</p>

【デザインガイドライン専門部会での主な意見】

- ・「伝統と未来をつなぐ」というキーワードが良い。
- ・「きらめく(きらめき)」という言葉は、敦賀ではよく使われているが、他の駅のコンセプトにないので良い。
- ・「きらめく駅」をどのように設計するか、建築家としてセンスが問われる。
- ・「その他要望」には、「港と鉄道の歴史を紹介して欲しい」という非常に大切なことが書かれている。

北陸新幹線敦賀駅舎デザインコンセプト応募用紙

<p>デザインコンセプト (駅舎外観デザインの 基本的な考え方)</p>	<p>「天空から見る 歴史ある港と街の見える駅」</p>
<p>上記のデザインコンセプトにした理由をお聞かせください。</p>	<p>新幹線敦賀駅舎の建設は、長さ300m高さ35mと計画されており、高い駅舎から一望出来るような歴史ある港と街並みが見える駅舎が想像出来る。</p>
<p>その他、新幹線駅舎についてご要望がございましたらお聞かせください。</p>	<p>①外観は、矢張り明るく、スッキリとしたシンプルな、あっさりした駅舎にして欲しいです。 ②子供、高齢者、障害者にやさしい、便利な設備にして欲しいと思います。</p>

【デザインガイドライン専門部会での主な意見】

- ・ 駅（ホーム）からの眺望も大切である。
- ・ 「歴史」というキーワードが良い。
- ・ 敦賀といえば、「海」「港」を挙げる。
- ・ 港や海を「見える」よりは「感じる」と言うほうが感覚的によい。
- ・ 「その他要望」の欄に書いてある「外観は明るく、スッキリしたシンプルな駅舎にして欲しい。子ども、高齢者、障害者にやさしい便利な施設にして欲しい。」という意見も大切である。

北陸新幹線敦賀駅舎デザインコンセプト応募用紙

<p>デザインコンセプト (駅舎外観デザインの 基本的な考え方)</p>	<p>海と山に囲まれた 自然いっぱいの駅</p>
<p>上記のデザインコン セプトにした理由を お聞かせください。</p>	<p>敦賀には、きれいな海と きれいな山があるから。</p>
<p>その他、新幹線駅舎 についてご要望がご ざいましたらお聞か せください。</p>	<p>ミニ水族館があつたら いいと思う。 たくさんお花などを 植えてほしい。</p>

【デザインガイドライン専門部会での主な意見】

- ・敦賀の未来を担う子どもの言葉は、感覚的な言葉であり重要だと思う。
- ・「自然いっぱい」は、他の駅のデザインコンセプトと同じでないのが良い。
- ・「自然いっぱい」を設計者の方がどう表現するのか気になる。
- ・「その他要望」の欄に書いてある「ミニ水族館」が良い。

北陸新幹線敦賀駅舎デザインコンセプト応募用紙

<p>デザインコンセプト (駅舎外観デザインの 基本的な考え方)</p>	<p>空に浮かぶえき ラピュタえき</p>
<p>上記のデザインコン セプトにした理由を お聞かせください。</p>	<p>しんかんせんが くるからたかくなるから</p>
<p>その他、新幹線駅舎 についてご要望がご ざいましたらお聞か せください。</p>	<p>夏はさむく冬はあたた かくしてください。</p>

【デザインガイドライン専門部会での主な意見】

- ・最もシンプルで、インパクトがある。
- ・シンボリックで未来性があり、デザインや設計しがいがある。
- ・駅舎は高さがあり、良い眺望が得られるのでコンセプトと繋がりやすい。「ラピュタ」とイメージが合う。
- ・「ラピュタ」という言葉を入れず、「空に浮かぶ駅」だけでも十分だと思う。
- ・「空に浮かぶ」という言葉には「威圧感を消してほしい」という意味もある。
- ・「その他要望」の欄に書いてある「夏は寒く、冬は暖かくしてください」という要望は明快で良い。

(2)デザインガイドライン専門部会において出された主な意見

- ・ 駅東側からは駅舎全体が見えるが、駅西側からは現駅舎の奥に新幹線駅舎が見えることになり、駅東側と西側とで見え方が異なる。
そのため、デザインコンセプト案の選定にあたっては、「駅東側からみた駅舎外観」と「駅西側からみた駅舎外観」、「駅舎内部」のデザインのうち、何を重視するのかを考える必要がある。
- ・ 駅舎（ホーム）の長さは約 300m、高さは約 35mで、大きな「壁」となるため、威圧感のないデザインにする必要がある。
- ・ 駅のホームの高さ（約 35m）からは、あまり海が見えないため、「海が見える」とは言わない方が良い。
- ・ デザインコンセプト案は大きく分けて、「デザインの考え方を細かく書いたもの」と、「余計なものをそぎ落としたシンプルなもの」の2種類あるが、シンプルでメッセージ力があるものが良いと思われる。
- ・ デザインコンセプトは、駅周辺整備構想と繋がってほしい。
- ・ 県内の他の駅のデザインコンセプトと同じようなコンセプトにならないようにする必要がある。